1 技術シーズの公開やマッチングの場など

校 名	対 応 状 況
香川高等専門学校	・研究内容を技術シーズとしてホームページで公表している。
	https://www.kagawa-nct.ac.jp/innovation/11_seeds/
	・産業技術振興会総会の日程に合わせて、技術シーズ発表会を実施している。
香川大学	本学では、ホームページにおいて、「研究シーズ集」として分野ごとの研究シーズを公表しているほか、「技術相談」のフォームを設け、随時、
	企業等の製品・サービス開発等の課題について、産学連携・知的財産センターが窓口となって相談を受け、研究者への橋渡しを行っている。
	そのほか、産学連携・知的財産センターや地域・産官学連携戦略室のコーディネーターが企業等を直接訪問して個別相談やニーズ調査を行
	い、本学シーズとのマッチングを図っている。
	また、技術的な相談以外でも総合的な窓口機能を地域・産官学連携戦略室に設けており、学内の担当部局に速やかに繋ぐ体制を整備してい
	る。
香川短期大学	【生活文化学科食物栄養専攻】
	・明治百年記念青少年基金助成事業「学生による小学生を対象とした支援事業」小学生を対象とした食育教室および料理教室の実施(H22 年
	度~R4 年度)報告書及びレシピ等を HP などで公開している。
	・かがわ産業支援財団委託事業「冷凍かき揚げ研究開発事業」(H26年度)報告書を作成している。
	・かがわ産業支援財団委託事業「細川食品レシピ開発」(H27年度)レシピ開発を行い、報告書を作成している。
	・王越・健康サポートプロジェクト会議(H27年度~R2年度)地域の医師会・薬剤師会・介護施設等及び王越地区住民の代表と組織している
	会議に参加し、毎年「王越健康のつどい」を開催。学生・教職員もロコモチェック手伝い、体組成測定、講演会などを担当している。「栄養士
	養成校における地域住民への健康サポート活動-王越・健康サポートプロジェクトへの取り組み」(H31.3) 学会発表などで報告。
	・香川短期大学ロコモ予防プロジェクト:短大で地域の方を対象に調理実習およびロコモ測定会等のロコモ予防研修会を実施(H28・29年度)
	・JICA 草の根技術協力事業「ベトナムハイフォン市における生活習慣病対策のモデル事業構築プログラム」(H28・29 年度)専門家派遣およ

び香川短期大学でのモデル事業実施様子をベトナムハイフォン市一行が見学。報告会に参加し、報告書の提出等を行っている。

- ・公益社団法人日本青年会議所四国地区香川ブロック大会「うどんトッピング商品化」(H29年度)
- ・産官学連携(久保田麺業)「徳麺」うどんトッピングレシピ開発(H29年度)
- ・「ロコモ予防で健康長寿を目指そう!」プロジェクト(香川短期大学創立 50 周年記念事業)地域住民への公衆栄養活動としてロコモ健診・保健指導を実施:武庫川女子大学国際健康開発研究所所長 京都大学名誉教授 家森幸男先生を代表とする科研費の共同研究の一環で実施 (H29・30 年度)
- ・創立 50 周年記念レシピ集の刊行(「弁当の日プロジェクト適塩レシピ&野菜レシピ」学内で実施している「弁当の日」のレシピを元に作成し無料配布を行った。(H29 年度)
- ・食育推進指導士講習会(公益社団法人 こんぴら賢人記念館主催)H30 年度講習に用いるテキストを食物栄養専攻の教員・非常勤講師で執筆・編集を行った。(H24 年度~H30 年度)
- ・令和元年度産官学連携プロジェクト試食会・「香川短期大学産学連携プロジェクト 2020」レシピ発表会(R2 年度)企業から食材の提供を受け、そのレシピ開発を行い、レシピコンテストを実施。
- ・「産学官連携事業」(R3~5 年度) 香川短期大学の学生が考案した「地元農産物を活用した食品レシピ」地元農産物のPRや、食品ロスの軽減、地産地消の促進に加え、コロナ禍におけるストレス軽減や健康問題といった社会的課題の解決を目指し、家庭で楽しめる新たな食品レシピ等の開発に取り組み、学内選考会にて、選出された優秀レシピをレシピ集にまとめ、動画も作成し、丸亀市のHPで公開している。
- ・香川県より依頼「令和4年県民健康・栄養調査」集計分析(R4年度)
- ・有機農業・農産物への理解促進と人材育成に向けた大学と農政局の連携(R5年度)ワークショップを開催。今後学生が有機野菜を使用したレシピ開発とイベント等での有機野菜を使用した商品の販売を行う。
- ・香川県より依頼「コンビニ商品を活用した組み合わせ提案や簡単な朝食レシピ考案」(R5 年度) 県内セブン・イレブン各店舗でレールポップに掲示。
- ・丸亀市より依頼「丸亀市キッズウイーク」事業で食育ゼミが小学生を対象とするスイーツ教室を開催(R5年) 【経営情報科情報ビジネスコース】
- ・かがわ産業支援財団の商品技術テーマ事業に参加。「子育て IoT 機器開発」をテーマとして(株)ザムウと本学の共同研究実施(2018 年)
- ・三豊市地域戦略課(旧交通政策課)との共同研究「みとよ MaaS プロジェクト」(2020-2023 継続中)

- ・東海大学理学部情報数理学科大西健輔准教授が科研申請中の「VR 関連教育コンテンツ」(2023 年) において双方の特性がうまくマッチングできたことで、1 年間すり合わせの定例会に参加している。
- ・千葉商科大学小栗幸夫名誉教授が行っている「ソフトモビリティに関わる基礎研究」(2023年)において、自動車社会の課題意識という点でマッチングし、共同研究に参加している。
- ・令和3年度総務省四国総合通信局からの委託調査に参加。テーマ「四国地域における学校 DX における地域課題と先駆事例の検証」 【経営情報科デザイン・アートコース】

○2018年

- ・独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院との協業「香川労災病院おもてなしプロジェクト」制作&実施
- ・株式会社 N&E との協業「徳島県産未利用木材を使用した商品開発プロジェクト」制作
- ・和のコンテンポラリーとの協業「親子で HAIZAI アートワークショップ&コンクール」学生スタッフ(2018.2021.2023)
- ・郷東町子ども会からの依頼 和のコンテンポラリーとの協業「公園絵画コンクール」学生スタッフ
- ・宇多津町からの依頼「宇多津町歳末大売出しポスター&チラシ」制作(2018,2019)
- ・宇多津町からの依頼「第25回大松杯バレーボール大会ポスターデザイン」制作(2018.2019.2023)

○2019年

- ・香川県との協業「香川県主催行事 かがわアートキャラバン アートコンポ香川」学生スタッフ
- ・和のコンテンポラリーとの協業「ポーランド カトヴィツェ美術大学准教授 アルトゥル・マステルナク博士による子ども版画ワークショップ」学生スタッフ
- ・宇多津町からの依頼「こども防犯マップ 2019 デザイン」制作
- ・アナウンスオフィス『ON・MIC』からの依頼「ロゴマークデザイン」制作
- ・讃岐罐詰 株式会社からの依頼「90周年ロゴマーク&キャラクターデザイン」制作

○2021年

- ・香川県との協業「香川県主催行事 かがわ文化芸術祭 2021 ポスター」制作
- ・株式会社 四国新聞社との協業「ピンクリボンポスター」制作
- ・株式会社 勇信酒造からの依頼「医療ブランド新商品 バリアケア プロモーション動画」制作

	・JR ホテルクレメント高松からの依頼「20 周年記念ロゴマーク」制作
	○2022 年
	・株式会社 喜田建材との協業「ゲストハウスリノベーションプロジェクト」制作&施工
	○2023 年
	・和のコンテンポラリーとの協業「ポーランド アーティスト カトリーナ・レフェク氏による版画ワークショップ」学生スタッフ
高松大学・高松短期大学	ホームページで各学部・学科教員の職名、氏名、専門分野を「教員一覧」として公表し、各教員の氏名をクリックすると、各教員の基本情報、
	教育研究分野をまとめた「研究者一覧」が表示されるようにしている。
徳島文理大学	・ホームページの中で、情報公開として「各教員の業績及び保有学位」を掲載している。
	・学部・学科によっては、研究内容を技術シーズとして HP で公表している。

2 マッチングにおける課題

校名	対 応 状 況
香川高等専門学校	・新任教員と地域産業界とのマッチングが困難。
	・大学ではなく高専と行うテーマ設定が困難。
	・高専所有の特許の有効活用。
香川大学	技術相談やコーディネーターによる企業訪問において、企業等の様々な相談や課題を受けるが、研究者のエフォートの問題(時期や予算
	上の理由で折り合わない)や、本学研究者が持つシーズとマッチングしない案件(学術的、教育的要素が無いなど)も多々ある。
香川短期大学	【生活文化学科食物栄養専攻】
	・他大学等との研究の場合、人を対象としている研究調査などでは、どちらの倫理委員会で申請を行うかなどの課題がある。また、地域
	の方を対象として健診を実施する場合、検査費用等多額の経費が必要であるが、費用捻出が難しい。
	・学生が行う研究、レシピ開発等は事業の継続が可能なものもあれば、ゼミ単位で行う場合は、ゼミ活動が2年次のみの単年度であるた
	め引継ぎなどの問題等で事業継続が難しい点がある。
	【経営情報科情報ビジネスコース】
	大学の所在地が県をまたぐため、関係機関との連携をどちらで行うか、また研究開発費の獲得も難しい。
	【経営情報科デザイン・アートコース】
	プロジェクトにより事業の継続性に差異がある。担当者が変わることで単年で終わるものや学生の卒業により下の学年に引き継げな
	いものもある。
高松大学・高松短期大学	ホームページで「教員一覧」等を公表しているが、地域や産業界の課題解決に対応するため、また、大学等間の研究促進のため、各大学
	等の技術・研究を活用した共同研究に特化したものではない。
徳島文理大学	・ホームページで公開の「各教員の業績及び保有学位」は、共同研究を目的としたシーズの公開とはなっていない。
	・学会や地域等での教員の個人的な繋がり、研究業績記事等をきっかけとした繋がりなど、マッチングの場が限られている。
	・臨床工学技士会では臨学産連携委員会を設けてアイディアを募集しているが十分な成果を上げていない。
	URL : https://ja-ces.net/renkei/